

作物のゲノム編集育種の現状と展望

ゲノム配列上の特定の位置に狙い通りの変異を生じさせることができる「ゲノム編集」は、従来にはない新たな形質を持つ品種を作り出すことができる技術として近年注目されています。日本でもゲノム編集技術を用いて作出したトマトが2020年に初めて国に認可され、販売を開始しています。本報告会では品種開発の技術の一つとして身近になってきた「ゲノム編集」について、技術の内容、開発されつつある作物の事例、商品として市販されるまでの道のり、社会受容に向けての取り組みなどについて、日本を代表する4名の先生方にご講演いただきます。

開催日時
開催方法
参加申し込み

2022年6月13日(月) 開場 12:30 開始 13:00~15:45(終了予定)

WEBライブ配信(Zoom)

事前登録制(以下URLまたは右のQRコードからお申込みください。)

WEB参加申し込み

www.kazusa.or.jp/workshops/cbln/cbln_r4_index/



プログラム

(敬称略)

【総会】

13:00~13:30

- ① 主催者挨拶
- ② 令和3年度事業報告・令和4年度事業方針

【事例報告会】

13:30~14:00

植物ゲノム編集技術の現状と展望
農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門
上級研究員 雑賀 啓明

14:00~14:30

国内の作物・花卉等のゲノム編集研究の現状と今後の展望
大阪大学大学院工学研究科 生物工学専攻 細胞工学領域
教授 村中 俊哉

14:30~14:40

休憩

14:40~15:10

ゲノム編集作物の上市へ向けての取り組み
筑波大学 生命環境系
教授 理工情報生命学術院長 江面 浩

15:10~15:40

農業・食品分野でのゲノム編集の利用に向けた理解醸成の推進
農業・食品産業技術総合研究機構 企画戦略本部 新技術対策課
課長 高原 学

15:40~15:45

閉会の挨拶

事務局

(公財)かずさDNA研究所

企画管理部事業推進課

TEL.0438-52-3957

E-mail bio-network@kazusa.or.jp



千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議

千葉県・公益財団法人かずさDNA研究所 共催